

令和6年7月17日 水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

令和6年度採択技術について評価結果を示す。

●令和6年度採択技術（FS 調査実証新規採択）

- 災害時における応急浄水と応急給水の一体的運用に関する調査事業（㈱NJS・メタウォーター㈱・WOTA ㈱共同研究体）

提案された技術について、被災地の状況に合わせた応急浄水システム、応急給水システムの最適な組み合わせの構築を目指して研究を実施していただきたい。なお、水道事業者との協力、既存技術の適用範囲の明確化、被災レベルやニーズに応じた計画の検討にも留意すること。

- 無電力運転が可能な高度浄水装置に関する調査事業（(一財)造水促進センター・協和機電工業㈱・長崎大学共同研究体）

提案された技術について、様々な原水水質へ対応可能であることの実証、無電力及び低動力における運用を目指して研究を実施していただきたい。なお、被災地での運用体制の構築、活用方法の検討、今後の実現可能性にも留意すること。

- 水道管更生技術の要求性能項目の基準化（芦森工業(株)・アグアインテック(株)・(株)ホル・管清工業(株)・(株)湘南合成樹脂製作所・大成テック(株)・中日コプロ(株)・中林建設(株)・(株)アツリ共同研究体）

提案された技術について、水道の管更生技術の適用範囲の明確化及び要求性能項目の基準化による水道管更生技術の普及を目指して研究を実施していただきたい。なお、耐震性評価の検討、水道管更生技術に対する水道事業者のニーズの把握、技術性能の確認にも留意すること。